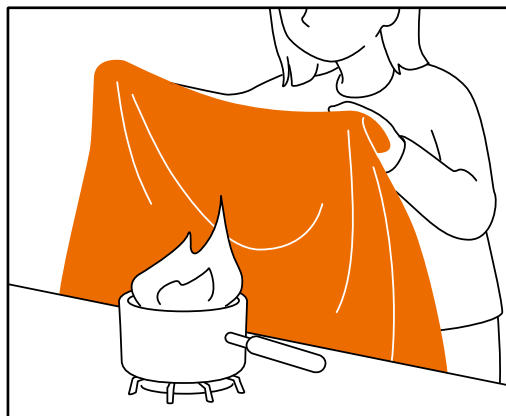


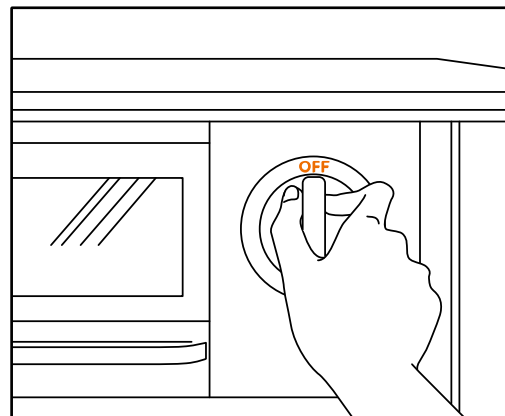
## 住宅火災時のファイヤーブランケットの使用方法



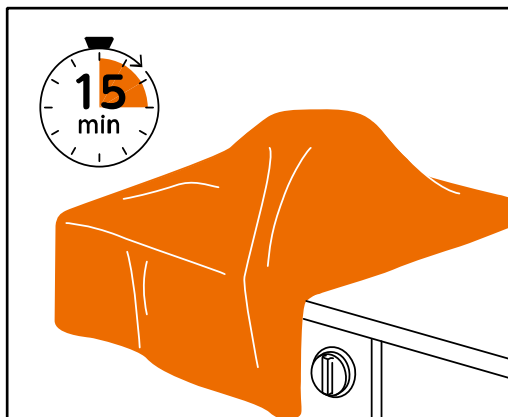
1. カバーの底から、ぶら下がっている持ち手を素早く引き下げて、ファイヤーブランケットを取り外します。



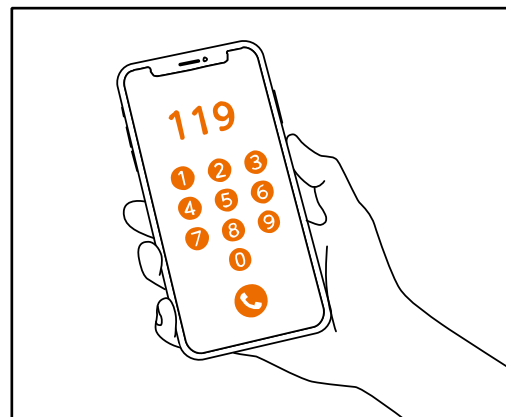
2. ブランケットを火の上にかぶせます。  
※ブランケットより大きな火の場合はすぐに消防に連絡してください!!



3. コンロなどの熱源をすべてオフにします。これにより、火が消えるまでにかかる時間が短縮されます。

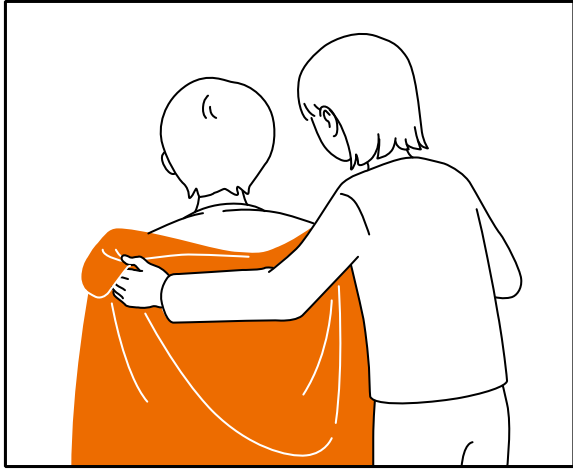


4. ブランケットをかけた後、少なくとも15分間そのままにして置き、炎が消えるまでブランケットを熱源に置いておきます。温度が下がるまで、ブランケットを動かしたり触れたりしないでください。



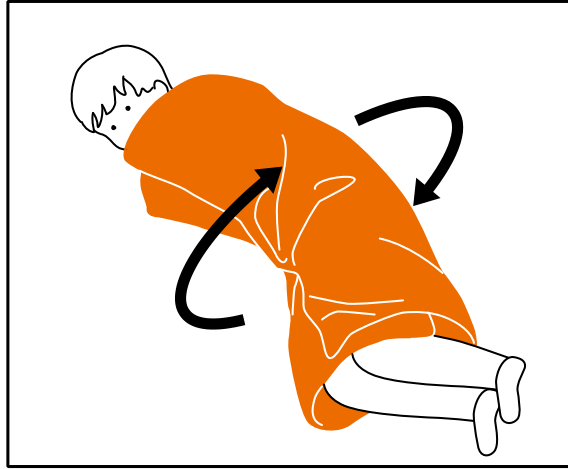
5. 消防署（119）に通報してください。この製品はあくまでも**初期消火**のみです。完全消火はできません。自分で消火することが困難な火災の場合は、緊急援助が必要です。たとえ消火できたとしても、消防署に連絡して炎が完全に鎮火し、残り火や熱が別の火事を引き起こす可能性がないことを確認する必要があります。

# 着衣着火時のファイヤーブランケットの使用方法



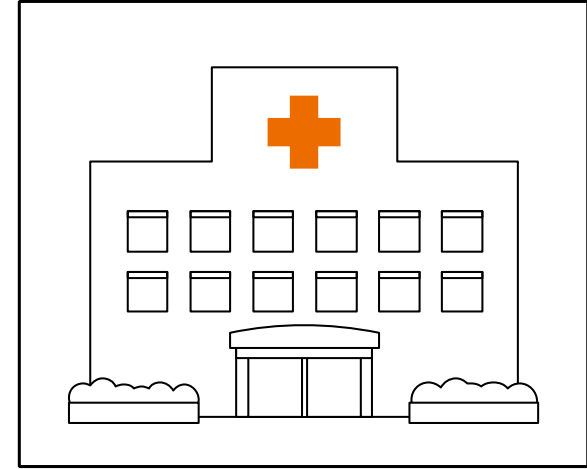
**1. 服が燃えている人をファイヤーブランケットで包みます。**

誰かの服が燃えている場合は、その人を服の上からファイヤーブランケットで包みます。毛布の端を使って自分の手を保護し、火傷を防ぎます。しっかりと固定されるまで、巻き付けましょう。



**2. 立ち止まり、倒れこみ、転がります。**

これは、火災での被害を減らすために使用される対処法です。



**3. 医療援助を求めてください。**

火事による火傷は、できるだけ早く病院を受診する必要があります。火傷は軽度に見えられる場合でも、受診する必要があります。

## 初期消火とは

火事が発生したとき、出火の初期段階に行う消火活動です。

まだ火が小さい間に火を消し止めることで、大規模な火災の発生を防ぎます。

建物内で発生した火事の場合、初期消火の限界は炎が天井に届くまでといわれており、出火から3分程度のごく短時間で行わなくてはなりません。